

1) ディレクトフォース

わたしたちの班は、新日鐵住金へ訪問しました。いろいろな、貴重なお話を伺い、将来二度と出来ないであろう体験をさせていただき、とてもためになりました。

はじめに新日鐵住金とはどのような会社か教えて頂きました。新日鐵住金とは、日本の大手鉄鋼メーカーです。粗鋼生産量が国内最大手、世界では第二位の規模です。会社紹介の中で特に興味を持ったのは鉄鋼の加工などだけでなく、研究にもとても力を入れているという点でした。「素材としての鉄の可能性を極限まで引き出す」ことを目標としていて、より質のいい鉄鋼の開発などを行っているそうです。このことから、商品の生産だけでなく研究にも力を入れているところがすごいと感じ、それが会社がここまで成長できた一因なのかと思いました。将来働くことになった時、たとえ研究者にならなくてもこのように向上心を忘れず仕事ができるようにしたいと思いました。

次に会社で実際に働いている職員の方々からお話を伺いました。その中で特に興味を持ったのは、会社にはいろいろな部署があるということ、そして、どの部署も少なからず海外との関わりがあることです。部署の例としては経営企画部、法務部、技術部、営業部など、他にもいろいろな部署があることを知りました。経営企画部とは企業が定めた経営戦略に沿った中長期、または、短期の計画立案及び、その遂行にあたっての経営資源の分配を行う部署。法務部とは法律を扱う部署で、契約交渉、契約書作成にあたって訴訟などが起きないようにきちんと契約をしたり、訴訟が起きてしまった場合の弁護士対応を、したりする部署です。大学で法務部を出たら、弁護士以外に選択肢が思い浮かびませんでした。こういった選択肢もあるのだと知りました。技術部とは、新しい製品を開発する部署です。開発の始めの段階は企画立案です。会議などで出た開発テーマはもちろん、開発担当者が考えたもの、営業担当がお客様との打合せでの要望等を元に考えたもの、これらが検討されて年間の開発計画が作られます。営業部とは、お客様との商談などを行います。また、商品を売るだけでなくその使い方の案も提示します。このことから同じ会社に入っても出た大学の学部は様々で、人生にはとても多くの選択肢が存在し、よく考えて自分の進路を決めなくてはいけないと思いました。また、これらの部署は海外ともつながりがあります。営業部は海外にもお客様がいて、その海外のお客様との契約は法務部が行い、技術部は海外のお客様のニーズにあった開発もしなくてはなりません。このことから、自分の分野だけでなく、より幅広い知識が必要になってくるのだなと思いました。

次に、会社の職員の方々やディレクトフォースの方々とパネルディスカッションを行いました。自分はあまり積極的に発言できませんでしたが、とても参考になりました。例えば、会議の進め方です。社員の方のフォローを見て、どのように振る舞えば話し合いがスムーズに進むのかがわかりました。他にも、自分以外の二校生の物事に対する考え方です。話し合いを行なっていく中で普段はわからないような、自分以外の二校生の物事に対する考え方がわかり、視野が広がりました。

2) 企業訪問

わたしたちの班はセルシードという会社に訪問しました。セルシードでは、主に二つの事業に取り組んでいます。一つは細胞シート再生医療事業です。これは、従来の医療では治療が困難であった疾患の治療を実現する技術で、患者あるいは他者から採取した幹細胞などのバラバラな細胞から、いろいろな組織を人工的に作成して治療する新しい技術です。2014年11月25日に施行の医療品医療機器法と再生医療等安全性確保法を受けて、日本における細胞シート再生医療製品の早期実用化を目指しているそうです。もう一つは、再生医療支援事業です。再生医療研究者をはじめ、細胞に関する基礎研究者をサポートするツールを提供しているそうです。細胞シートを作成できる独自の細胞培養器材やES細胞・iPS細胞などからいろいろな細胞へと分化させる際に有効な培養器材があるそうです。

今後、いろいろな分野への発展が期待される再生医療、僕も医者を目指す身として医療関係の知識だけでなく、もっと幅広い体系的な知識をもつよう心がけたいと思いました。

3) ホテルにて二校出身、東京大学生の話聞く

まずは東京医科歯科大学の先輩にお話を伺いました。正確には東京医科歯科大学は東京大学ではありませんが、医者を目指す身としてはとても参考になるお話を伺えました。とてもユニークな話し方で、話がとても聞きやすかったです。例えば、医学部受験の特徴や各学部ごとの特徴、高校生時代の具体的な勉強方法などです。医学部以外の話も聞けたので、今後の学部選択にとってとても参考になりました。

次に、工学部の方にお話を伺いました。この方には、キャンパスでの具体的な生活について伺いました。どの時期が特に大変だとか、大学生よ試験前の様子、研究の日程など大学生の生活がとても具体的にイメージできてとても良かったです。また、東京大学では入学した後に学部を決めるということも教えて頂きました。大学に入った後で、じっくりいろいろな学部をみて決められるのでとても良いと思いました。

最後も、工学部の方にお話を伺いました。こちらの方には、高校生のおすすめの勉強の仕方や、大学に入った後でのレポートの書き方についてお話を伺いました。ここで伺った勉強の仕方は、夏休みの残りの勉強に活かしたいと思っています。またレポートの書き方は、生物の課題のレポートを、書くのにとっても役立ちました。

4) 東京大学オープンキャンパス

特に、今回のオープンキャンパスでは、どんな研究をしているのか、また、大学の雰囲気や就職などについて知りたいと思いました。特に研究については、大学で、実際にどのように、どのような研究をしているのかといったことは、実際にみてみると、高校生ではイメージしにくく、大学の、雰囲気も実際に、見て見なくてはわからないのでとても貴重な体験になりました。東京大学生といっても勉強ばかりしているひとたちばかりではなくて、みな大学生活を楽しんでいるようでした。大学の雰囲気としては、木が多く夏でも涼しそうで、勉強や研究がしやすそうでした。散歩していると思われる人もたくさんいて、僕も近所に住んでいたらたまに散歩してみたいと思いました。

まずは工学部へ行きました。キャンパス内は既にオープンキャンパスに参加した高校生らしき人たちでいっぱいでした。東大工学部は、100年以上の歴史を誇るまさに我が国の産業を支えてきた学部です。東大の中でも規模も大きく、研究も多岐にわたっています。

次に農学部キャンパスを出て、いよいよ本郷キャンパスの正門から入り、工学部へ行きます。次に医学部へ行きました。しかし、あまり時間がなく展示しか見れませんでした。

東京大学のオープンキャンパスで特に良かったのは、展示などより、東京大学の雰囲気をとてもよく感じられたことでした。大学生活の、楽しさや大変さなどいろいろなことが、今までより具体的にイメージすることができ、たとえ東京大学へ行かないとしても、大学受験への興味関心、意欲に繋がりました。

5) まとめ

この二日間とても多くのことを学ぶことが出来ました。学んだことを忘れず、今後の生活へ活かしていけるように頑張ります。